

案内

- 礼拝堂は、神に礼拝を捧げるための神聖な場所です。堂内では、私語を慎み、静粛を保つよう心がけて下さい。
- 飲食物の持ち込みは禁止です。携帯電話の電源は必ず切ってください。礼拝堂内では脱帽して下さい。
- 礼拝の中で、「祈祷」の時には、目を閉じ、手を組み、頭を垂れ、祈りにふさわしい姿勢を取り、祈る人の言葉に集中して下さい。
- 礼拝とは、前奏、讃美歌、聖書朗読、説教、祈り、後奏までを含んだものを言います。説教が終わったとたんに退席するなど、礼拝途中での出入りは慎んで下さい。

東日本大震災の被災地を覚えての祈祷会

被災された方々とそのご家族、復興のために尽力されている方々を覚え、共にお祈りください。

9月11日(木)

青山キャンパス 本部礼拝堂 12時35分～13時5分

オール青山ハンドベルコンサート

日時 9月23日(火・祝) 開場13時 開演13時30分

場所 高等部PS講堂

教会暦と典礼色

キリスト教には教会暦と呼ばれる固有の暦があります。古くから人々は、時間もまた神が与えてくださったものであることを覚え、教会暦にそった祝祭日を祝うことで、イエス・キリストの生涯を覚えつつライフ・スタイルを整えてきました。この教会暦には象徴となる典礼色も定められています。呼称や期間区分は教会によって多少異なりますが、本学では合同メソジスト教会の教会暦にもとづいて、「待降節」(紫=悔い改め)、「降誕節」(白=栄光・喜び)、「公現節」(緑=恵み・希望・成長)、「受難節」(紫=悔い改め)、「受難日」(赤=血・贖罪)、「陰府下り」(黒)、「復活節」(白=栄光・喜び)、「聖霊降臨週」(赤=火・力)、「神の国節」(緑=恵み・希望・成長)、という周期を用い、聖壇のオルタークロスと礼拝週報の印刷色もこれに合わせています。

前期の大学礼拝は、今週で終了します。後期は、9月19日(金)より開始します。

青山学院大学礼拝週報

2014. 7. 21.
No. 16

神の国節第6週

教会史の人々 [2]

「アウレリウス・アウグスティヌス」
Augustine of Hippo (354-430)

古代のキリスト教会史のなかで、現代にまで影響力を与えている最大の神学者はアウグスティヌスであると言ってよいでしょう。彼は北アフリカのヒッポで司祭・司教を務め、『神の国』などの多くの書物を著しました。

しかし、彼の青年時代はマニ教という異教に傾倒していた享乐的なものでありました。彼にキリスト教への回帰を促したのは、ミラノの司教アンブロシウスや、熱心なキリスト教徒であった母モニカでした。

ある時、アウグスティヌスは決定的な回心を経験します。自宅で友人と話した後、庭に出ている時に、何処からともなく「取りて読め、取りて読め」という声が聞こえてきて、その時読んだローマの信徒への手紙13章11-14節の言葉との出会いによって、それはもたらされました。これまでの罪を克服する神の力が与えられた彼はようやく「心の安らぎ」を得られるようになったのです。この出来事は自伝的書物『告白』に記されています。



キング・ジェームズ版英語聖書復刻版(宗教センター蔵)

今年度の主題聖句

神から受けた純真と誠実によって

(コリントの信徒への手紙 二 第1章12節)